

平成 26 年度 東京都内湾水生生物調査 2 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 27 年 2 月 20 日に鳥類調査を実施した。この時期は越冬期にあたり、冬鳥のカモ類やカンムリカイツブリ等の個体数が多かった。天気は晴れもしくは曇りで、気温 8.4～11.2℃、北北東～東寄りの風が無風～3.5m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 12 時 1 分(45cm)、満潮は 6 時 8 分(196cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	14:10-15:16	9:10-10:26	11:00-12:12
天候	曇り	晴れ	晴れ
気温(℃)	11.2	8.4	11.2
風向	東	-	北北東
風速(m/sec)	3.5	-	3.1
備考	上げ潮時に調査を行った。調査範囲外にもスズガモやカンムリカイツブリの群、ミサゴが見られた。猛禽類のノスリが見られた。	鳥の島で作業が行われており、作業箇所周辺では鳥類が少なかった。海浜公園内では浚渫工事が行われていた。	当日、干潟面積が最も大きくなる最干時に調査を行った。調査範囲の東側では護岸工事が行われていた。羽田空港側の敷地でオオタカを確認した。

(※ノスリとオオタカは調査対象外のため、以降の調査結果には含まない)

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった	スズガモ(6,964 羽)	カワウ(682 羽)	ホシハジロ(110 羽)
鳥類上位 2 種	カンムリカイツブリ(1,327 羽)	スズガモ(636 羽)	コガモ(92 羽)
その他の鳥類	ウミアイサ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、ダイシャクシギ、ハマシギ、カモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ。	カモ類(オナガガモ、ホシハジロ等)、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、アオサギ、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、カモメ、セグロカモメ、ハクセキレイ。	カモ類(ヒドリガモ、カルガモ、キンクロハジロ等)、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、オオバン、イソシギ、セグロカモメ、ミサゴ、ハクセキレイ、タヒバリ。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・汀線際や干潟では、シロチドリ、ダイシャクシギ、ハマシギを確認。 ・水上では冬鳥のスズガモやカンムリカイツブリの群れ、ウミアイサを確認。 ・重要種として、8 種を確認(スズガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、ダイシャクシギ、ハマシギ、ミサゴ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第六台場や鳥の島ではカワウが営巣し、抱卵する様子や雛を確認。 ・海浜公園の浅瀬ではスズガモ等のカモ類の群を確認。 ・重要種として、4 種を確認(スズガモ、カンムリカイツブリ、オオバン、イソシギ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟や浅瀬、護岸では冬鳥のコガモやホシハジロ等のカモ類を確認。 ・干潟ではカワウが休息。 ・杭上でミサゴが採食。 ・重要種として、4 種を確認(カンムリカイツブリ、オオバン、イソシギ、ミサゴ)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種	5月			6月			8月			9月			1月			2月			重要種 選定基準			
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財保護法*1	種の保存法*2	環境省RL*3	東京都RL(区)*4
1	カモ	カモ	オカヨシガモ																						
2			ヒドリガモ													11									
3			マガモ																						
4			カルガモ	14	12	18	19	11	7	11	6	1			28										
5			ハシビロガモ												10	46				1	29				
6			オナガガモ																						
7			コガモ																						
8			ホシハジロ												49										
9			キンクロハジロ																						
10			スズガモ													4	53				13	110			
11			ウミアイサ	12			16			10			24												
12	カイツブリ	カイツブリ	カンナリカイツブリ																						
13			ハシロカイツブリ	3			4			1															
14	カツオドリ	ウ	カウ	236	851	55	1598	591	130	1205	303	81	285	36	579	23	593	15	18	682	17				
15	ベリカン	サギ	ヨシゴイ																				留		
16			ゴイサギ			3					4												DD		
17			ササゴイ												1								留		
18			アオサギ	4	30	11	16	23	5	16	15	7	16	17	14	2	35	1	5	48	3				
19			ダイサギ	29	3		19	4	2	33	11	2	19		9										
20			ロサギ	12	7	14	18	35	2	48	45	6	1	1	5										
21		トキ	クロツラヘラサギ	1			1						1												
22	ツル	クイナ	バン	1						2															
23			オオバン																						
24	チドリ	チドリ	ダイゼン							2															
25			コチドリ	3		2						1													
26			シロチドリ	6		3	7			28			10			26									
27			ダイチドリ	1		13				2		4	2		1										
28		ミヤコドリ	ミヤコドリ	35			3						40												
29		シギ	ウシギ	1																					
30			オオツルハシギ	2																					
31			チュウシャクシギ	5		2																			
32			ダイシャクシギ	1			1			2			3												
33			ホウロクシギ				1			1			1												
34			アオアシシギ	7						1			4												
35			キアシシギ	10	11	5				3	3	1													
36			ツルハシシギ							1															
37			イソシギ	1	1	3				1			2	2	5	6									
38			キョウジョシギ										2												
39			オバンシギ	19																					
40			トウネン	47																					
41			ハマシギ	179																					
42		カモメ	ユリカモメ				1			1			2	8		6									
43			ウミネコ	37		6	258		2	310	23	97	1500	2	6										
44			カモメ																						
45			セグロカモメ							7	2		8												
46			オオセグロカモメ	12		2	10		1	25		3	51		5										
47			コアジサシ	8		123	2		310			4													
48			アジサシ	219			1																		
49	タカ	ミサゴ	ミサゴ												1										
50	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ		1				2		1	5	1	1	2										
51			タヒバリ																						
計 8目12科51種				27種10種15種			18種16種11種			20種10種15種			18種16種14種			11種14種17種			14種14種17種			0種 1種 8種 30種			

※種分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

*1文化財保護法:

*2種の保存法: 国際: 国際希少野生動物

*3環境省レッドリスト: EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

*4東京都レッドリスト2010: CR: 絶滅危惧ⅠA類, EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, 留: 留意種

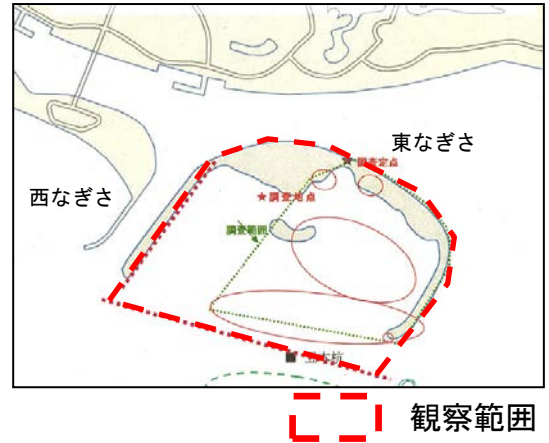
東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～2010年版.

<葛西人工渚>



○調査地点の状況

干潟から東側を望む。左奥に見えるのは東京ディズニーランド。干潟から満潮へ向かう上げ潮時に調査を実施したため、干潟は狭くなりつつあった。砂地の箇所や泥場の箇所が混在する。観察範囲は以下のとおり。



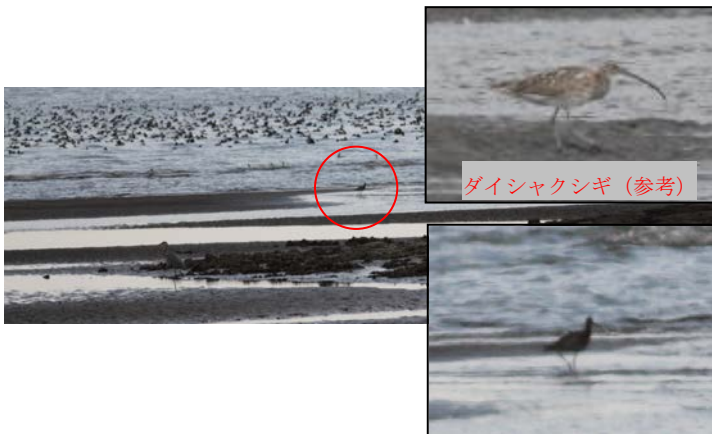
○出現種 (スズガモ)

最も個体数の多かった鳥類。東京都レッドリスト 2010 では留意種に指定されている。水上で休息していた。東京湾全体では数万羽以上が飛来し、越冬している。潜水して貝類などを採食する。



○出現種 (クロツラヘラサギ)

環境省レッドリストでは絶滅危惧 I B 類 (EN) に指定されている。分布がアジア東部に限られ、全世界に約 2000 羽しかいない国際的な希少種。人工構造物上で休息していた。



○出現種 (ダイシャクシギ)

東京都レッドリスト 2010 では絶滅危惧 I A 類 (CR) に指定されている。カニ類やゴカイ類、魚類などを採食する。汀線や干潟で採食していた。

<お台場海浜公園>



○調査地点の状況

お台場海浜公園の砂浜と第六台場、鳥の島が調査範囲。詳細な観察範囲は以下のとおり。鳥の島では植樹工事が行われていた。



観察範囲

○出現種 (カワウ)

先月に引き続き、第六台場と鳥の島の樹上で営巣していた。すでに親鳥と同じくらい大きさに育ったヒナも見られた。鳥の島の南側では作業が行われており、カワウの営巣は少なかった。

○出現種 (アオサギ)

カワウと同様に第六台場や鳥の島で繁殖する。繁殖期がカワウより遅く、これから巣を作る。オレンジ色になったくちばしや胸の飾り羽が目立つ。

○出現種 (ハジロカイツブリ)

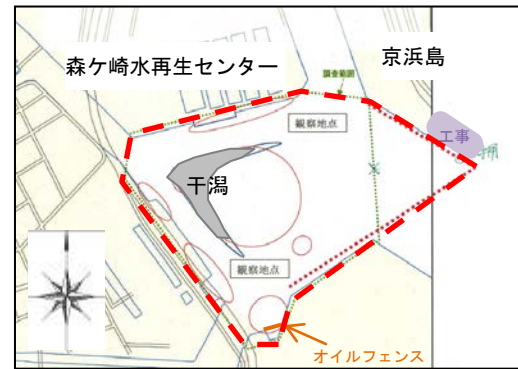
お台場海浜公園内の海上で潜水を繰り返し、小魚などの餌を探していた。冬羽は全体的に地味だが、夏羽では頭部に金色の飾り羽があらわれる。

<森ヶ崎の鼻>



○調査地点の状況

昭和島、京浜島、羽田空港に囲まれた干潟。詳細な観察範囲は以下のとおり。

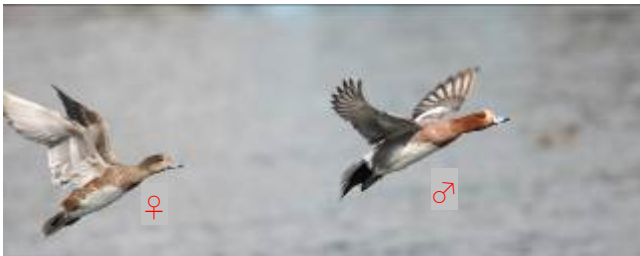


観察範囲



○出現種 (ホシハジロ)

森ヶ崎の鼻で最も個体数が多かった鳥類。海老取川方向のオイルフェンスで囲まれた内側で群を観察した。雄の頭部は赤褐色、胸は黒く体は灰色。雌の頭部は褐色で体は灰褐色。水生植物等を採食する。



○出現種 (ヒドリガモ)

人工構造物上やその周辺で、休息したり採食したりしていた。雄の頭頂は黄色で、頭部からくびは茶色。雌は褐色で腹部は白い。植物の種子や海藻等を採食する。



○出現種 (オオバン)

東京都レッドリスト 2010 では絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。東京湾では冬に個体数が多い。水草や昆虫などを採食する。



○出現種 (タヒバリ)

農耕地や海岸、荒地などでみられる冬鳥。セキレイ類。群で生活していることが多い。岩礁で採食していた。